

2025年度第3四半期 決算説明資料

あしたにいいこと、
KOBELCOと。

2026年2月6日
株式会社 神戸製鋼所
証券コード 5406



- 総括
- 2025年度 第3四半期業績
- 2025年度 業績見通し
- 株主還元
- セグメント情報
- 参考資料

2025年度 第3四半期業績

- 自動車、建築・土木等の素材系事業の主要な需要分野の活動水準に大きな変化はなく、建設機械についても、日本・欧州等の需要は引き続き低調に推移。
- 経常損益は、固定費を中心としたコストの増加に加え、建設機械における補償金収入の剥落等により、前年同期比減益の895億円、当期純損益についても、前年同期比減益の843億円となった。**

2025年度 業績見通し

- 第4四半期にかけても、需要の大幅な回復は見込み難く、**需要見通しは概ね前回並み**を見込む。
- 業績見通しについては、鉄鋼メタルスプレッドの悪化や神戸発電所3号機の定期点検期間の延長による減益※を見込む一方、**機械系事業が総じて増益**となることや在庫評価影響の改善等から、**経常損益1,100億円、当期純損益1,000億円といずれも前回並み**を見通す。
ROICについても、前回並みの5%程度を見通す。
- フリーキャッシュフローは、投資支払い時期のずれ等により1,100億円に上方修正。D/Eレシオは前回並みの0.65倍程度**を見通す。

※神戸発電所3号機 定期点検期間の延長(運転再開予定:当初1月中旬 → 現在5月中旬)

- 高圧タービンを取り付けている大型ナットが緩まない事態となったことから、配管を切断して取り外しを実施。大型ナットの製作・取付に時間を要するため、定期点検期間を延長して対応することとしており、停止期間の長期化に伴う減収を見込む。
- 現在、再稼働に向けた対応を進めており、5月中旬を目途に運転を再開予定。

株主還元

- 期末配当は40円/株(年間80円/株・配当性向31.5%)と前回方針から変更なし。**

2025年度 第3四半期業績

		前年同期比
売上高	1兆7,780億円	△1,059億円
経常損益	895億円	△433億円
在庫評価影響を除く	965億円	△338億円
親会社株主に 帰属する当期純損益	843億円	△325億円

2025年度 業績見通し

		前回比
売上高	2兆4,400億円	△250億円
経常損益	1,100億円	±0億円
在庫評価影響を除く	1,180億円	△60億円
親会社株主に 帰属する当期純損益	1,000億円	±0億円
フリーキャッシュフロー	1,100億円	+100億円

財務指標
2025年度見通し

ROIC	: 5%程度	(前回: 5%程度)
ROE	: 8%程度	(前回: 8%程度)
純資産比率	: 44%程度	(前回: 44%程度)
D/Eレシオ	: 0.65倍程度	(前回: 0.65倍程度)

株主還元

1株あたり期末配当40円、年間配当80円の方針(前回から変更なし)

2025年度 第3四半期業績

	2024年度		2025年度見通し(今回)		増減 ②－①
	3Q累計 ①	通期	3Q累計 ②	通期	
(単位:億円)					
売上高	18,840	25,550	17,780	24,400	△1,059
営業損益	1,245	1,587	944	1,300	△300
経常損益	1,328	1,571	895	1,100	△433
在庫評価影響を除く	1,303	1,561	965	1,180	△338
特別損益	※224	△161	181	200	△42
親会社株主に帰属する 当期純損益	1,168	1,201	843	1,000	△325

※特別損益に含まれる負ののれん発生益については、年度決算の確定値に遡及的に置き換えている

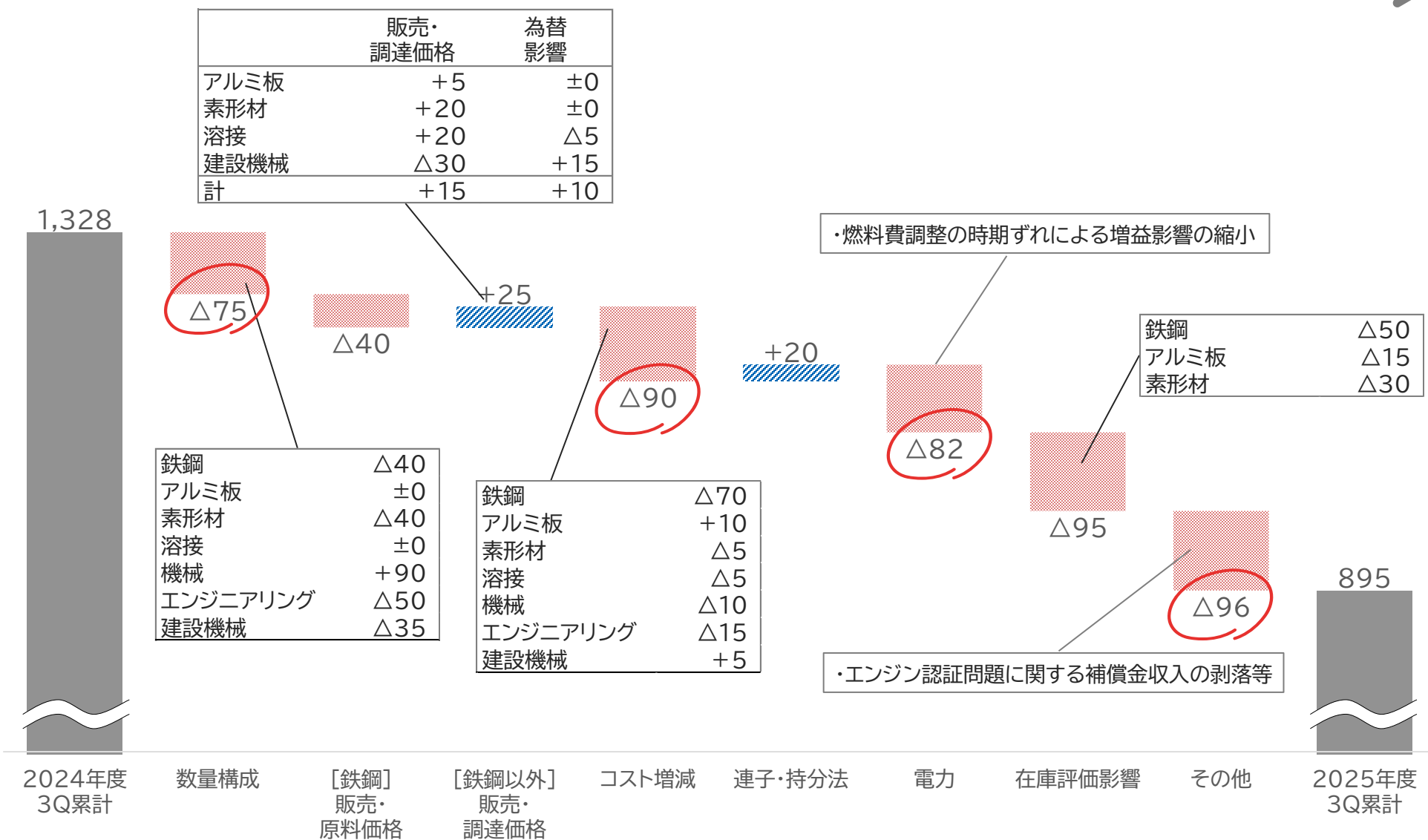
売上高 鉄鋼主原料及び発電用石炭の価格下落に伴う、鉄鋼・電力での販売価格の低下等により、前年同期比減収

経常損益 素材系事業の数量構成の悪化や固定費を中心としたコストの増加、建設機械での補償金収入の剥落や電力の燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小、在庫評価影響の悪化等により、前年同期比減益

当期純損益 経常損益の悪化により、前年同期比減益

2025年度 第3四半期業績:経常損益 前年同期比

△433億円



2025年度 第3四半期業績:経常損益 各セグメントの状況

	2024 3Q累計	2025 3Q累計	差異	
鉄鋼	289	120	△168	販売数量の減少やメタルスプレッドの悪化に加え、固定費を中心としたコストの増加、在庫評価影響の悪化等により、減益
在庫評価影響を除く	319	200	△118	
アルミ板	△25	△24	+1	価格転嫁の進展やコストの改善等により、在庫評価益の縮小があったものの、前年同期比改善
在庫評価影響を除く	△50	△34	+16	
素形材	76	13	△63	価格転嫁が進展したものの、自動車・半導体向けを中心とした販売数量の減少、在庫評価益の縮小等により、減益
在庫評価影響を除く	46	13	△33	
溶接	31	35	+3	価格転嫁が進展したこと等により、増益
機械	218	298	+79	エネルギー・化学向けを中心とした売上の増加等により、増益
エンジニアリング	139	91	△47	案件構成差等により、減益
建設機械	216	69	△146	前年度に計上したエンジン認証問題に関する補償金収入の剥落等により、減益
電力	381	299	△82	燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小等により、減益

青字は需要変動の影響を受けるユニット

自動車 (鉄鋼、アルミ板、アルミ押出、サスペンション、銅板、鉄粉、溶接)
国内・海外ともに**前回並み**

IT・半導体 (アルミ板、アルミ鋳鍛、銅板)
HDD需要は、データセンター向けの投資が引き続き堅調に推移しており、**前回並み**
半導体関連は、需要回復ペースの鈍化から、**前回比減少**

造船 (鉄鋼、鋳鍛鋼、溶接)
手持ち工事量は堅調に推移しているものの、人手不足の継続等により、**前回並み**

航空機 (チタン、アルミ鋳鍛)
老朽機リプレイスや新規建造の拡大など引き続き需要は堅調に推移しており、**前回並み**

飲料用缶 (アルミ板)
物価高騰による需要低迷、飲料メーカーでのシステム障害の影響等から、**前回比減少**

建築・土木 (鉄鋼、溶接)
人手不足、建築費高騰に伴う工事着工遅れの継続等から、**前回並み**

(機械)

エネルギー ・化学	市場の不透明感を受け、引き続き投資意思決定の遅れ等が見られるものの、 前回並み
--------------	--

一般産業	国内は、堅調に推移 海外は、中国・東南アジア市場の需要が引き続き低迷
------	---------------------------------------

(建設機械・油圧ショベル)

日本	レンタル需要の低迷の長期化等により、 前回比減少
----	---------------------------------

中国	政府主導の農地整備工事における重機需要の伸び悩み等により、 前回比減少
----	--

北米	インフラ投資等が堅調に推移し、 前回比増加
----	------------------------------

欧州	英国、イタリアを中心とした需要回復により、 前回比増加
----	------------------------------------

東南アジア	インドネシアでの農地開発プロジェクト等により、 前回比増加
-------	--------------------------------------

2025年度 業績見通し

(単位:億円)	2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)			増減 ②－①
	上期	下期	通期 ①	上期	下期	通期 ②	
売上高	11,814	12,835	24,650	11,814	12,585	24,400	△250
営業損益	625	674	1,300	625	674	1,300	±0
経常損益	576	523	1,100	576	523	1,100	±0
在庫評価影響を除く	641	598	1,240	641	538	1,180	△60
特別損益	179	20	200	179	20	200	±0
親会社株主に帰属する 当期純損益	628	371	1,000	628	371	1,000	±0

売上高

建設機械での販売台数の減少に加え、電力での神戸発電所3号機の定期点検期間の延長等から、前回比減収の見通し

経常損益

鉄鋼メタルスプレッドの悪化や神戸発電所3号機の定期点検期間の延長影響を見込むものの、機械系事業での増益、在庫評価影響の改善等により、前回並みの見通し

当期純損益

経常損益・特別損益共に前回並み

- 25年度における米国関税影響については、年間で△15億円を見込む。
- なお、前回見通しにおいて、素材系事業における米国向け完成車輸出の減少リスクを想定していたものの、第3四半期までに顕著な影響は生じておらず、前回比+15億円の改善を見込む。

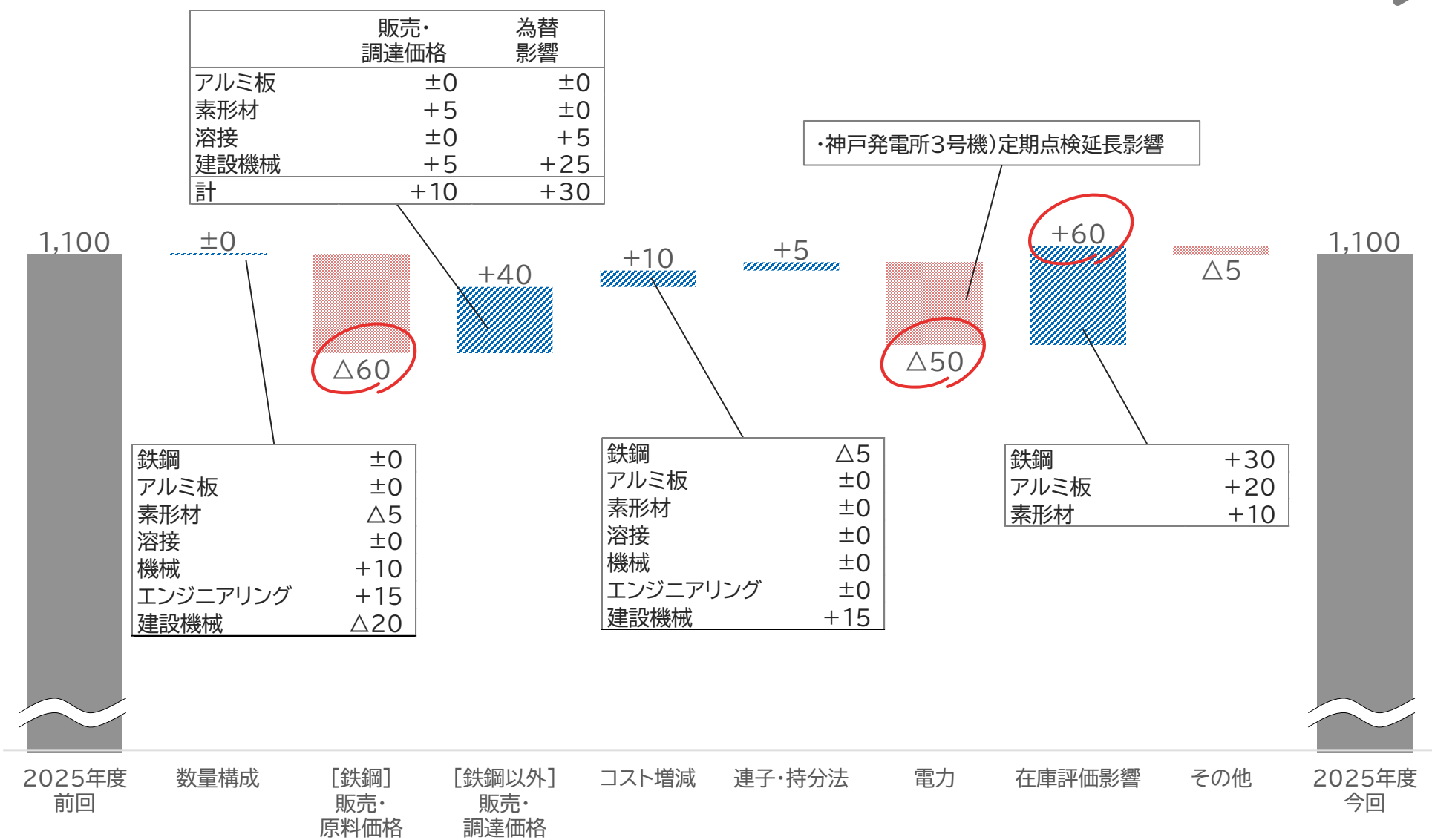
米国関税影響

(単位:億円)

	前回	今回			米国関税影響織り込み内容
	年度	上期実績	下期見通し	年度	
直接輸出	△10	△5	△5	△10	<ul style="list-style-type: none"> • 建設機械の米国販社での関税負担（鉄鋼・アルミ派生品影響含む） • 関税負担分の販売価格への転嫁
間接輸出	△15	—	—	—	（顕著な影響なし）
その他	△5	△5	—	△5	• 米国現地法人(販社除く)における輸入品の関税負担等
合計	△30	△10	△5	△15	

2025年度 業績見通し:経常損益 前回比

±0億円



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

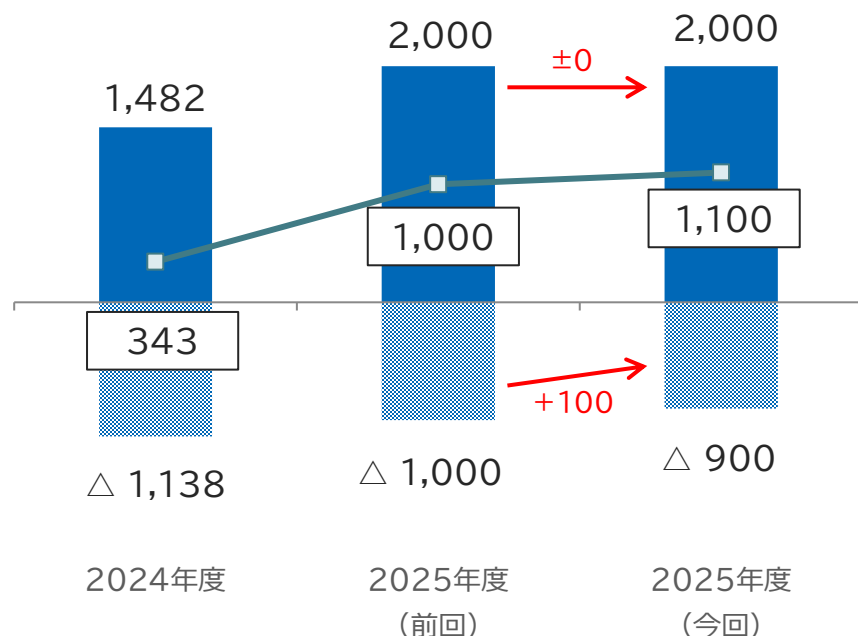
2025年度 業績見通し:経常損益 各セグメントの状況

	2025 前回	2025 今回	差異	
鉄鋼	45	25	△20	原料価格の上昇に伴いメタルスプレッドが悪化し、在庫評価影響の改善はあるものの、減益の見通し
在庫評価影響を除く	180	130	△50	
アルミ板	△45	△25	+20	アルミ地金市況の上昇に伴う在庫評価影響の改善等により、改善の見通し
在庫評価影響を除く	△35	△35	±0	
素形材	50	60	+10	半導体向け販売数量の減少等を見込むものの、販売価格の改善、在庫評価影響の改善等により、増益の見通し
在庫評価影響を除く	45	45	±0	
溶接	50	55	+5	円安の進展に伴う輸出採算の改善等により、増益の見通し
機械	400	410	+10	エネルギー・化学向けを中心とした案件採算の改善等により、増益の見通し
エンジニアリング	120	135	+15	グループ会社を中心とした案件採算の改善等により、増益の見通し
建設機械	85	125	+40	販売台数の減少を見込むものの、円安進展に伴う輸出採算の改善や固定費を中心としたコスト改善等により、増益の見通し
電力	360	310	△50	神戸発電所3号機の定期点検期間の延長影響等により、減益の見通し

- ・フリーキャッシュフローは、設備投資支払いの時期ずれによる投資キャッシュフローの減少を見込むことなどから、前回比+100億円改善の1,100億円を見通す。
- ・有利子負債残高は、フリーキャッシュフローの改善などにより、前回比△100億円の減少を見込む。D/Eレシオについては、0.65倍程度となる見通し。

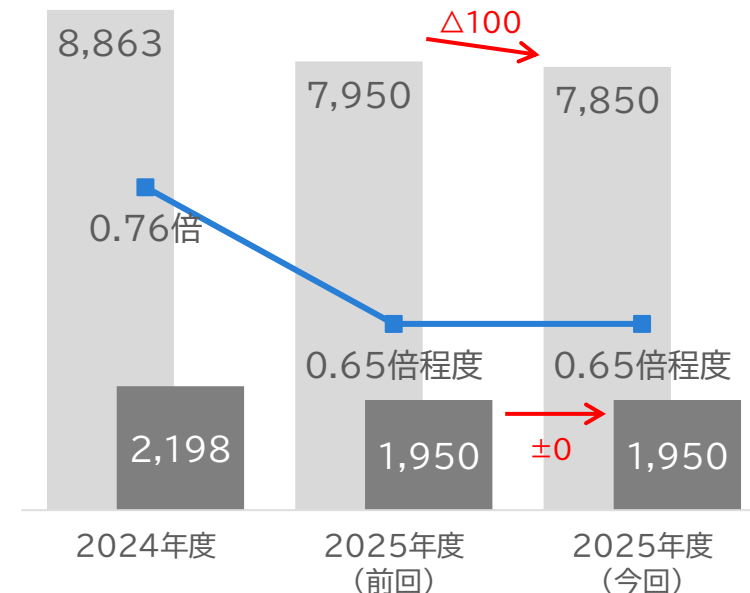
キャッシュフロー

■ 営業キャッシュフロー
 ■ 投資キャッシュフロー
 ■ フリーキャッシュフロー
 (億円)



D/Eレシオ

■ 有利子負債残高(リース含む)
 ■ 現預金残高
 ■ D/Eレシオ
 (億円)



前回公表の1株につき期末配当40円(年間配当80円)とする方針は変更なし

還元方針 継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に考慮して決定

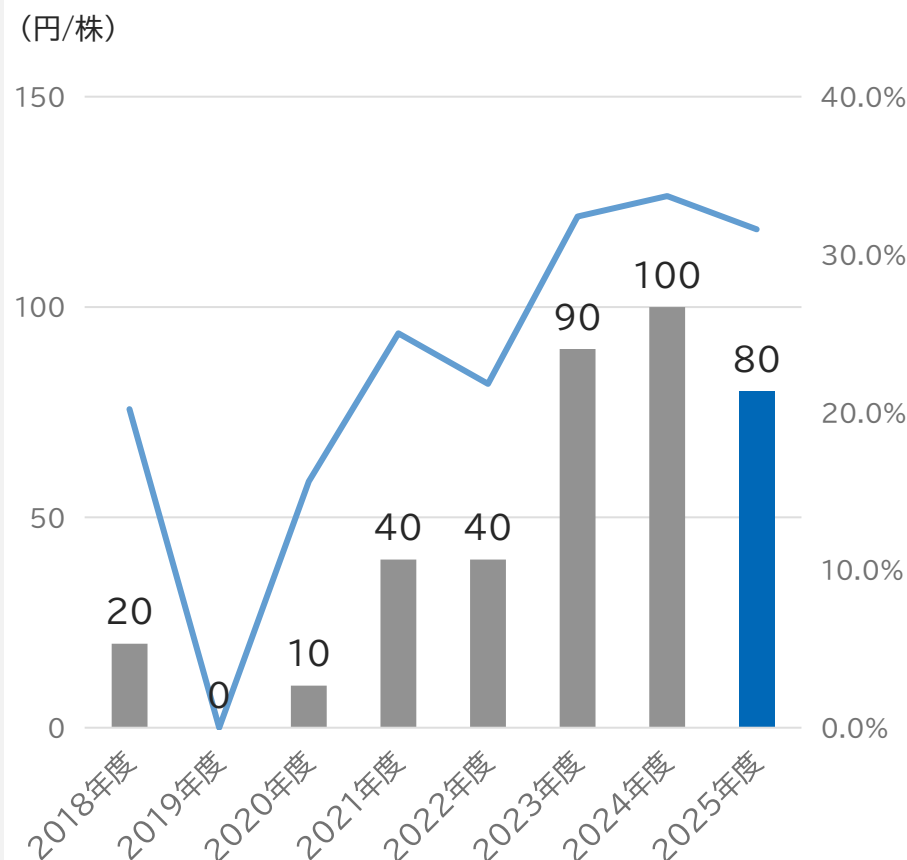
中期経営計画(2024~2026年度)

配当性向 30%程度

配当金額(円/株)
配当性向(%)

2024年度		2025年度	
中間	期末	中間	期末(方針)
45円	55円	40円	40円
100円		80円	
32.8%		31.5%	

配当金額・配当性向



セグメント情報

2025年度第3四半期業績・2025年度業績見通し



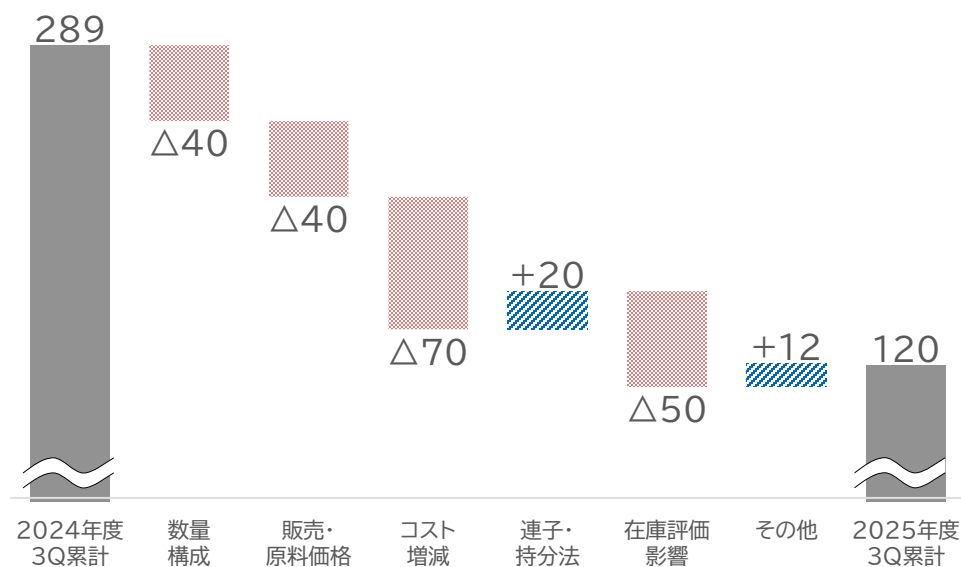
(単位: 億円)

	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)					2025年度 3Q累計	前回比 通期 ②-①
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②		
鉄鋼アルミ	8,457	11,161	5,060	4,939	10,000	5,060	2,458	2,441	4,899	9,960	7,518	△40
素形材	2,337	3,171	1,543	1,786	3,330	1,543	834	942	1,776	3,320	2,377	△10
溶接	699	939	461	488	950	461	245	243	488	950	706	±0
機械	1,808	2,651	1,290	1,619	2,910	1,290	648	921	1,569	2,860	1,938	△50
エンジニアリング	1,112	1,748	739	1,190	1,930	739	491	699	1,190	1,930	1,230	±0
建設機械	2,939	3,880	1,880	2,109	3,990	1,880	991	1,027	2,019	3,900	2,872	△90
電力	1,908	2,588	1,134	1,005	2,140	1,134	441	474	915	2,050	1,575	△90
その他	65	89	25	39	65	25	17	16	34	60	43	△5
調整額	△488	△679	△320	△344	△665	△320	△161	△148	△309	△630	△481	+35
売上高	18,840	25,550	11,814	12,835	24,650	11,814	5,966	6,619	12,585	24,400	17,780	△250
営業損益	1,245	1,587	625	674	1,300	625	318	355	674	1,300	944	±0
鉄鋼アルミ	264	236	65	△65	0	65	30	△96	△65	0	96	±0
素形材	76	107	8	41	50	8	4	46	51	60	13	+10
溶接	31	52	20	29	50	20	15	19	34	55	35	+5
機械	218	325	186	213	400	186	111	111	223	410	298	+10
エンジニアリング	139	161	29	90	120	29	61	43	105	135	91	+15
建設機械	216	187	36	48	85	36	33	55	88	125	69	+40
電力	381	523	235	124	360	235	63	10	74	310	299	△50
その他	32	38	13	36	50	13	11	29	41	55	25	+5
調整額	△32	△60	△19	4	△15	△19	△15	△14	△30	△50	△35	△35
経常損益	1,328	1,571	576	523	1,100	576	318	204	523	1,100	895	±0
在庫評価影響を除く	1,303	1,561	641	598	1,240	641	323	214	538	1,180	965	△60
特別損益	224	△161	179	20	200	179	2	18	20	200	181	±0
親会社株主に帰属する 当期純損益	1,168	1,201	628	371	1,000	628	215	156	371	1,000	843	±0

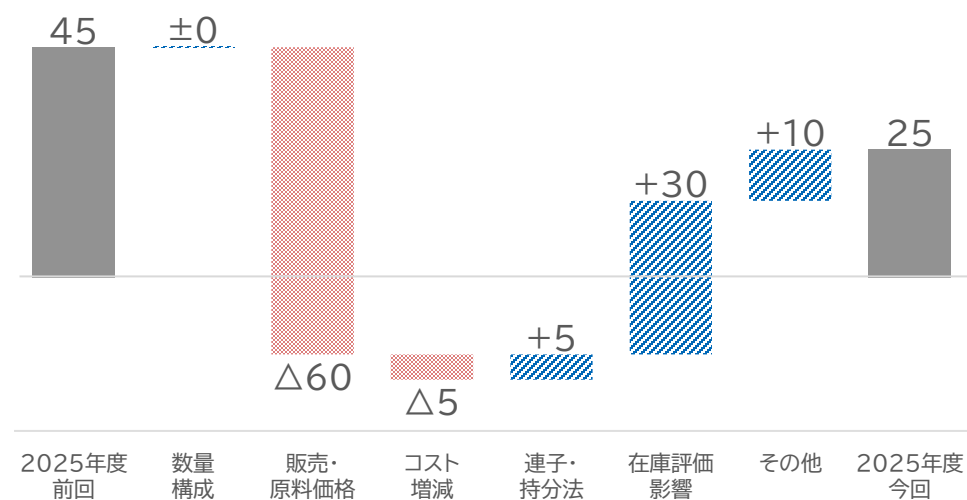
(単位:億円)

(単位:億円)		2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)					2025年度	前回比
		3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②－①
売上高		6,954	9,144	4,178	4,061	8,240	4,178	2,048	1,943	3,991	8,170	6,226	△70
経常損益		289	243	85	△40	45	85	35	△95	△60	25	120	△20
在庫評価影響を除く		319	298	165	14	180	165	35	△70	△35	130	200	△50
粗鋼生産量 (高砂含む)	[万t]	453	596	293	287	580	293	143	145	287	580	435	±0
鋼材 販売数量(単体)	[万t]	356	472	231	229	460	231	117	112	229	460	348	±0
(国内)		273	363	185			185	92				276	
(輸出)		83	109	46			46	25				72	
(輸出比率)		23%	23%	20%			20%	22%				21%	
鋼材 販売単価	[千円/t]	147	144	135			135	132				134	

2025年度 第3四半期業績 (前年同期比)



2025年度 業績見通し (前回比)



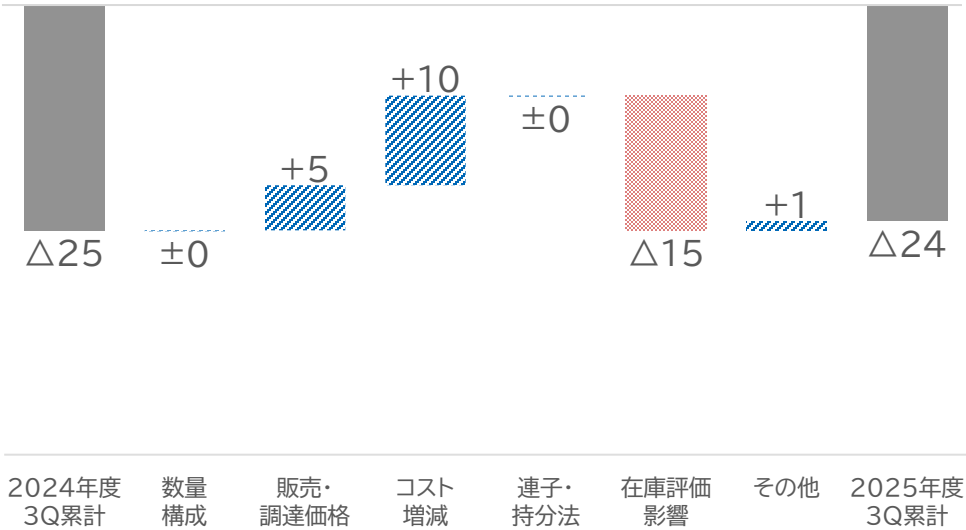
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位:億円)

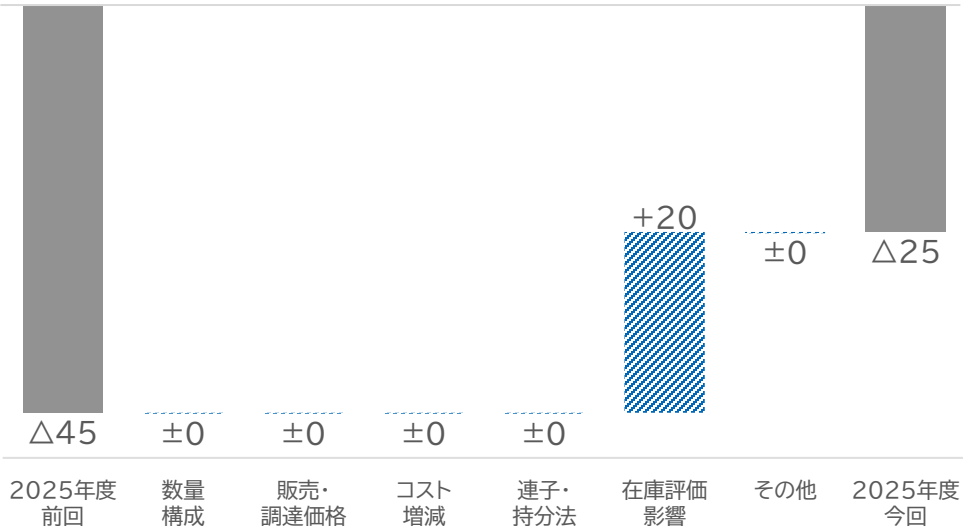
	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)					2025年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①
売上高	1,503	2,017	881	878	1,760	881	409	498	908	1,790	1,291	+30
経常損益	△25	△6	△19	△25	△45	△19	△4	△0	△5	△25	△24	+20
在庫評価影響を除く	△50	△36	△29	△5	△35	△29	△4	△0	△5	△35	△34	±0
アルミ板 販売数量(連結)	231	307	135	135	270	135	61	74	135	270	196	±0
(国内)	163	219	111			111	50				162	
(海外)	67	88	23			23	11				34	

※2025年度より神鋼汽車鉛材(天津)有限公司は子会社から関連会社に変更(売上高・販売数量から除外)

2025年度 第3四半期業績 (前年同期比)



2025年度 業績見通し (前回比)

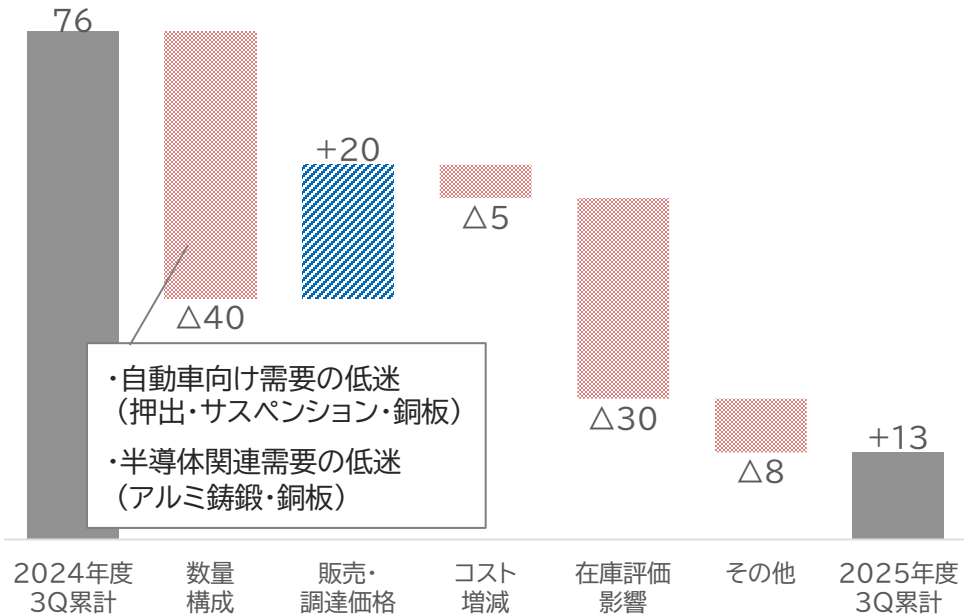


※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

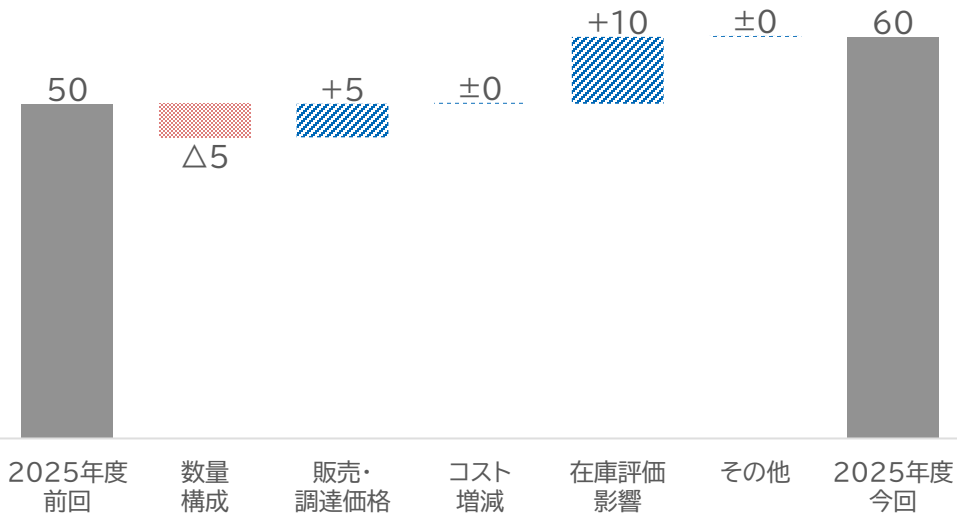
(単位:億円)

	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)					2025年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①
売上高	2,337	3,171	1,543	1,786	3,330	1,543	834	942	1,776	3,320	2,377	△10
経常損益	76	107	8	41	50	8	4	46	51	60	13	+10
在庫評価影響を除く	46	72	3	41	45	3	9	31	41	45	13	±0
アルミ押出 販売数量 (連結) [千t]	29	38	17	19	36	17	10	10	20	37	27	+1
(国内)	22	30	13			13	7				21	
(海外)	6	8	4			4	2				6	
銅板 販売数量 (単体) [千t]	40	53	25	31	56	25	15	15	30	55	40	△1

2025年度 第3四半期業績 (前年同期比)



2025年度 業績見通し (前回比)



(単位:億円)	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)					2025年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①
売上高	699	939	461	488	950	461	245	243	488	950	706	±0
経常損益	31	52	20	29	50	20	15	19	34	55	35	+5
溶接材料 販売数量 (連結) [千t]	168	227	112	119	230	112	58	56	114	225	170	Δ5
(国内)	70	92	45			45	23				68	
(海外)	98	134	67			67	35				102	

2025年度 第3四半期業績（前年同期比）

数量 国内:建築・自動車の需要減により、減少
海外:中国での需要増などにより、増加

価格 価格転嫁の進展等により、上昇

コスト 労務費等の固定費を中心に増加

2025年度 業績見通し（前回比）

数量 国内:前回並みの見通し
海外:タイ、欧米での需要減により、減少

価格 円安の進展等により、上昇

コスト 前回並みの見通し

(単位:億円)	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)					2025年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①
売上高	1,808	2,651	1,290	1,619	2,910	1,290	648	921	1,569	2,860	1,938	△50
経常損益	218	325	186	213	400	186	111	111	223	410	298	+10
受注高	1,773	2,625	1,233	1,466	2,700	1,233	589	777	1,366	2,600	1,822	△100
受注残高	2,456	2,544	2,385			2,385	2,323					

2025年度 第3四半期業績（前年同期比）

受注高 等方圧加圧装置(IP装置)での好調な需要を受け、増加

経常損益 エネルギー・化学向けを中心とした売上の増加等により、増益

2025年度 業績見通し（前回比）

受注高 エネルギー・化学分野におけるプロジェクト遅延の影響等により、減少

経常損益 エネルギー・化学向けを中心とした案件採算の改善等により、増益

(単位:億円)

	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)					2025年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①
売上高	1,112	1,748	739	1,190	1,930	739	491	699	1,190	1,930	1,230	±0
経常損益	139	161	29	90	120	29	61	43	105	135	91	+15
受注高	824	1,647	884	1,065	1,950	884	215	599	815	1,700	1,100	△250
受注残高	4,111	4,419	4,450			4,450	4,278					

2025年度 第3四半期業績（前年同期比）

受注高 還元鉄関連事業で大型案件を受注したこと等により、増加

経常損益 案件構成差等により、減益

2025年度 業績見通し（前回比）

受注高 還元鉄関連事業の大型案件の受注時期ずれ等により、減少

経常損益 グループ会社を中心とした、個別案件の採算改善等により、増益

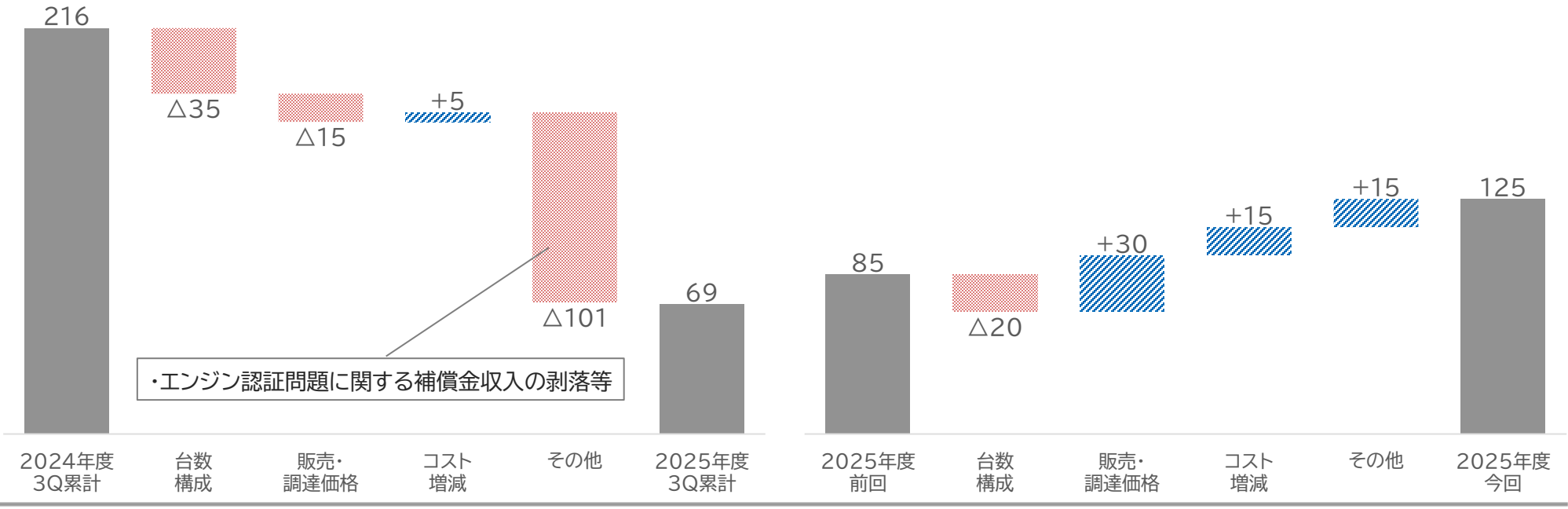
(単位:億円)

	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)					2025年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①
売上高	2,939	3,880	1,880	2,109	3,990	1,880	991	1,027	2,019	3,900	2,872	△90
経常損益	216	187	36	48	85	36	33	55	88	125	69	+40
油圧ショベル 販売台数(連結) [千台]	15.4	20.3	10.3	11.7	22.0	10.3	5.1	5.6	10.6	20.9	15.4	△1.1
(国内)	4.8	6.6	2.6			2.6	1.3				3.9	
(海外)	10.6	13.7	7.8			7.8	3.8				11.5	
クローラークレーン 販売台数(連結) [台]	257	374	154	186	340	154	84	92	176	330	238	△10

※1:ミニショベルを含む

2025年度 第3四半期業績（前年同期比）

2025年度 業績見通し（前回比）



(単位:億円)

	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)					2025年度	前回比
	3Q累計	通期	上期	下期	通期 ①	上期	3Q	4Q	下期	通期 ②	3Q累計	通期 ②-①
売上高	1,908	2,588	1,134	1,005	2,140	1,134	441	474	915	2,050	1,575	△90
経常損益	381	523	235	124	360	235	63	10	74	310	299	△50
燃料費調整の時期ずれ	40	50	10	0	10	10	0	0	0	10	10	±0
売電価格に関する一過性の損益影響	20	50	10	0	10	10	0	0	0	10	10	±0

2025年度 第3四半期業績（前年同期比）

販売電力量 真岡発電所の定期点検日数の増加(法定点検)等により、減少

販売単価 石炭価格の変動により、下落

経常損益 燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小等により、減益

2025年度 業績見通し（前回比）

販売電力量 神戸発電所3号機の定期点検期間の延長等により、減少

販売単価 前回並みの見通し

経常損益 神戸発電所3号機の定期点検期間延長に伴う売上減少等により、減益

参考資料

	2024年度実績		2025年度(前回)			2025年度(今回)					2025年度
	3Q累計	通期	上期	下期	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	3Q累計
USドル (円/\$)	153.0	152.6	146.1	145.0	145.6	146.1	155.8	150.0	152.9	149.5	149.3
中国元 (円/元)	21.2	21.1	20.3	20.0	20.2	20.3	22.1	21.0	21.6	20.9	20.9
ユーロ (円/€)	165.1	163.7	168.7	170.0	169.3	168.7	181.4	175.0	178.2	173.4	172.9

【為替の感応度分析】

USドル1円 円安に伴う今後の業績影響

鉄鋼 : 概ね影響なし(ドルバランスの影響△1億円、在庫評価影響・販売価格への転嫁等+1億円)

建設機械: 概ね影響なし

ユーロ1円 円安に伴う今後の業績影響

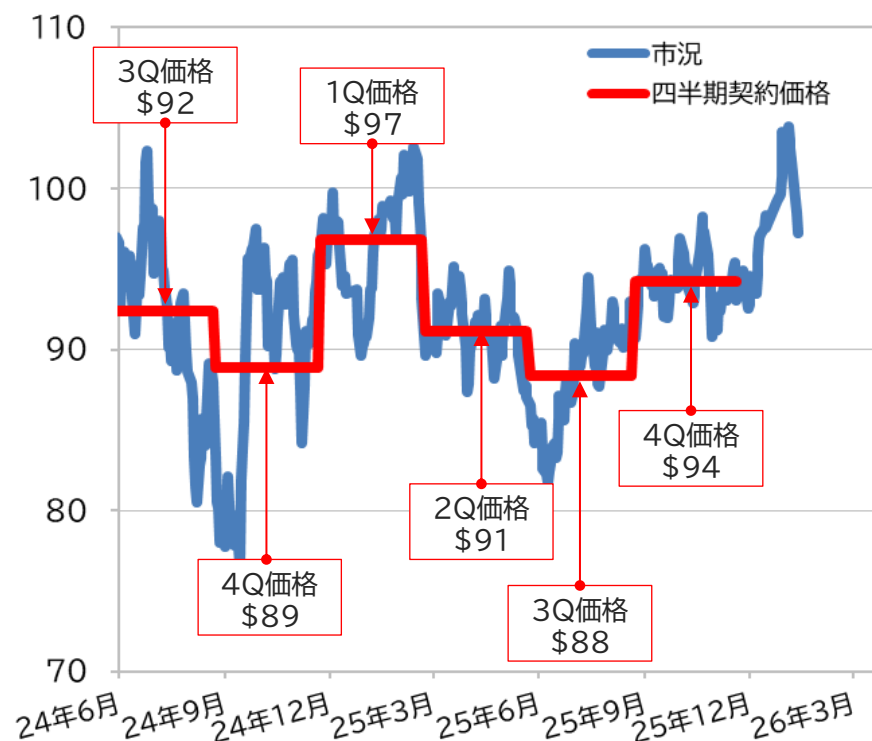
建設機械: 概ね影響なし

鉄鉱石 2025年度4Q価格は\$94で決着済み。

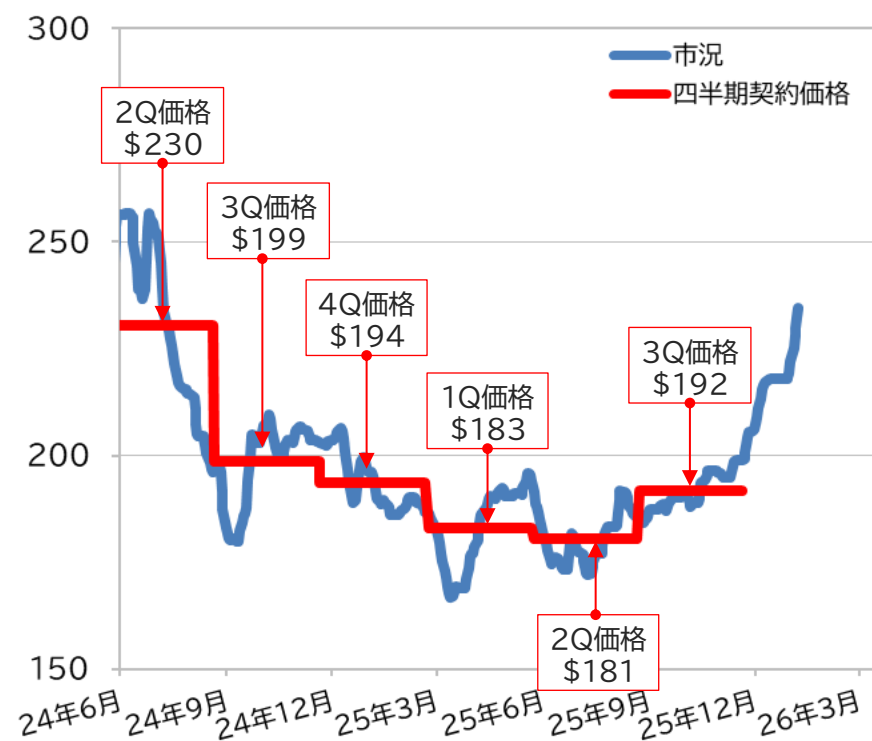
強粘炭 2025年度3Q価格は\$192で決着済み。4Qの価格レベルは3Q価格並みの水準にて想定。

一般炭 2025年10月から12月にかけて、\$110前後で市況は推移。4Qは足元並みの水準にて想定。

(\$/トン) <<鉄鉱石(FOB)市況前提>>



(\$/トン) <<強粘炭(FOB)市況前提>>



在庫評価影響



(単位:億円)

鉄鋼	2024年度		2025年度(前回)			2025年度(今回)					2025年度 3Q累計
	3Q累計	通期	上期	下期	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	
鉄鉱石	△30	△35	5	△10	△5	5	△5	10	5	10	0
石炭	△35	△35	△5	0	△5	△5	5	0	5	0	0
キャリアオーバー	△65	△70	0	△10	△10	0	0	10	10	10	0
総平均	△15	△35	△80	△45	△125	△80	△15	0	△15	△95	△95
低価法	△15	△20	0	△10	△10	0	15	△25	△10	△10	15
在庫評価影響	△30	△55	△80	△55	△135	△80	0	△25	△25	△105	△80

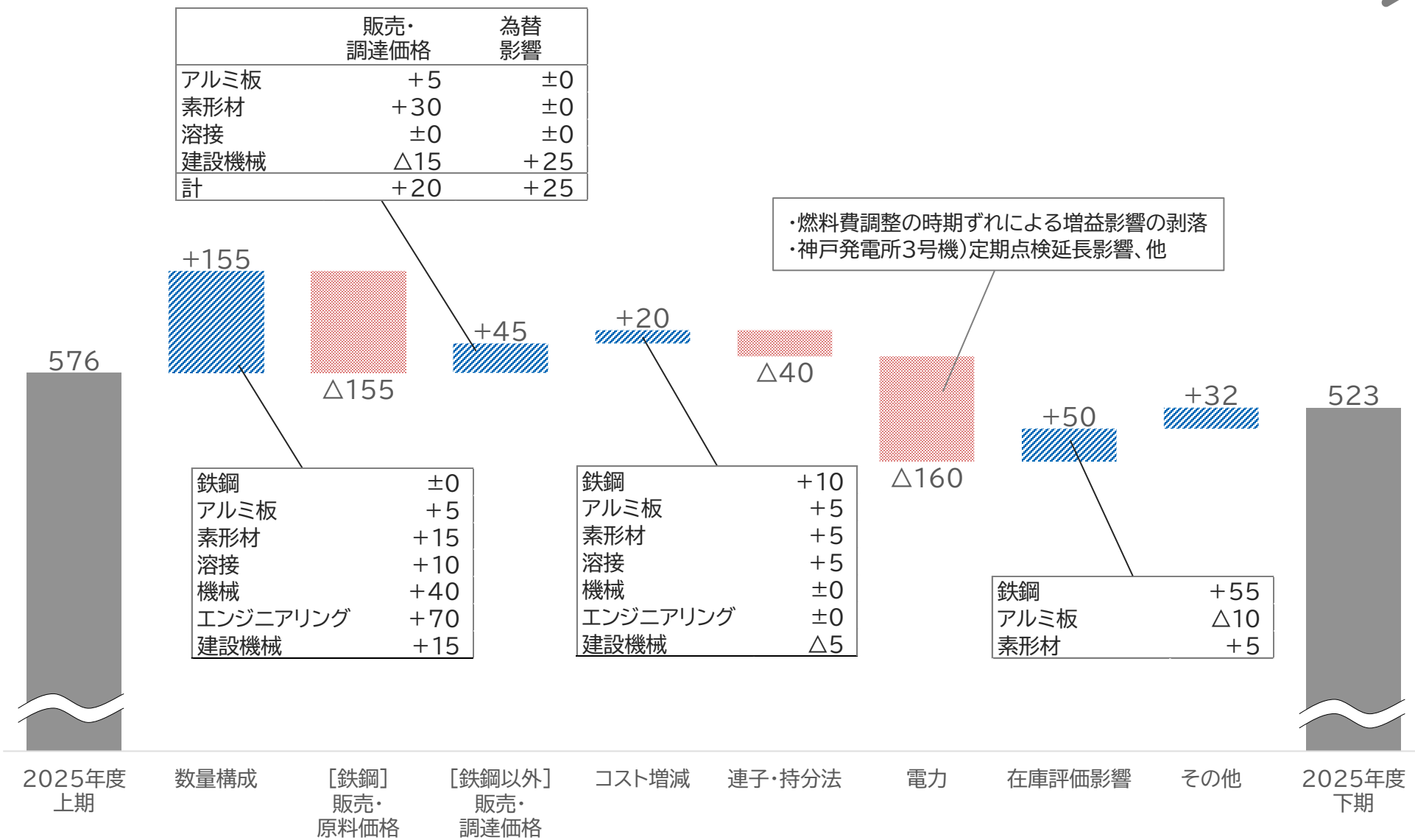
アルミ板	2024年度		2025年度(前回)			2025年度(今回)					2025年度 3Q累計
	3Q累計	通期	上期	下期	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	
総平均	20	25	15	△20	△5	15	△5	5	0	15	10
低価法	5	5	△5	0	△5	△5	5	△5	0	△5	0
在庫評価影響	25	30	10	△20	△10	10	0	0	0	10	10

素形材	2024年度		2025年度(前回)			2025年度(今回)					2025年度 3Q累計
	3Q累計	通期	上期	下期	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	
総平均	40	35	20	△5	15	20	0	10	10	30	20
低価法	△10	0	△15	5	△10	△15	△5	5	0	△15	△20
在庫評価影響	30	35	5	0	5	5	△5	15	10	15	0

KOBELCO

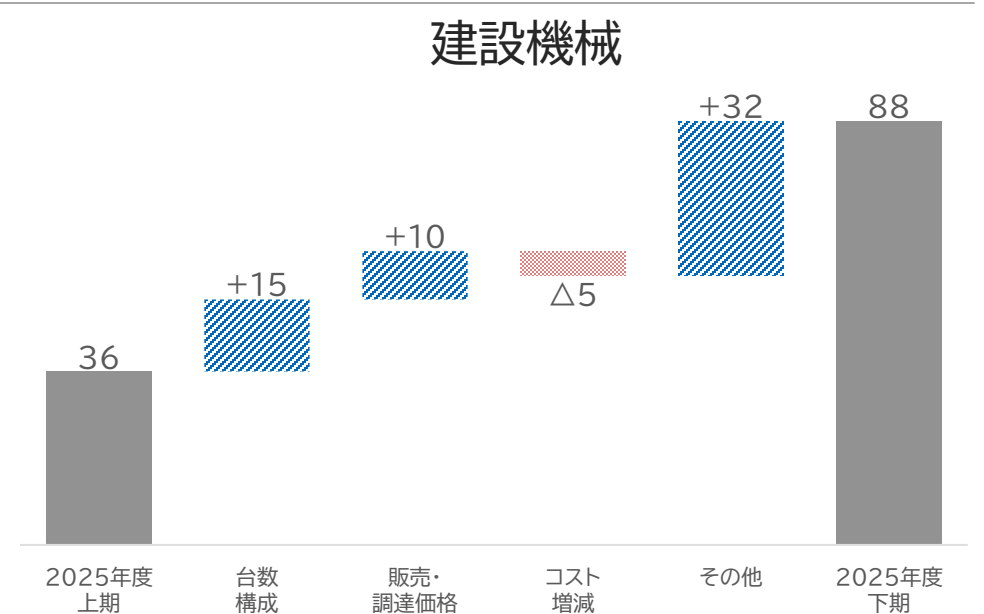
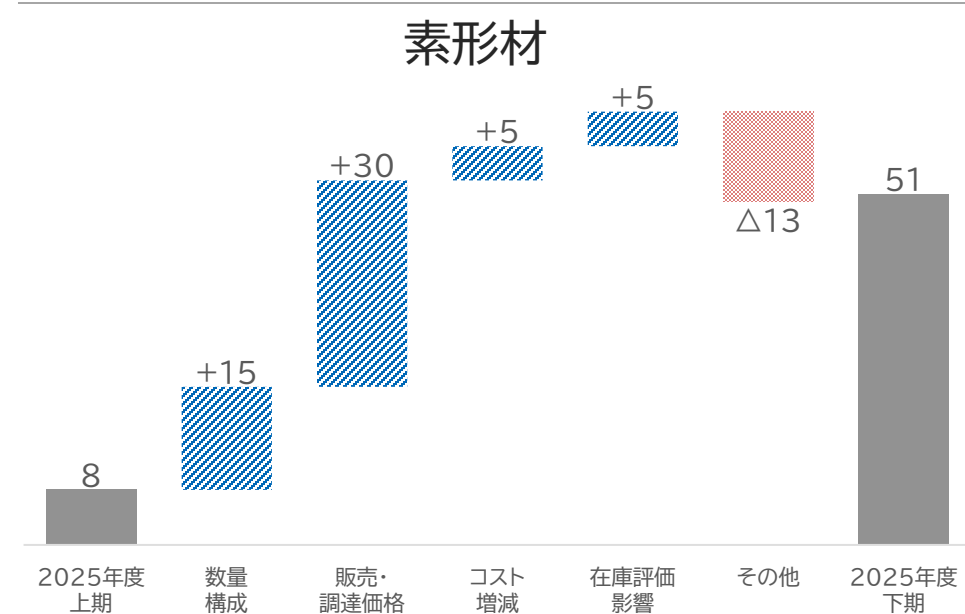
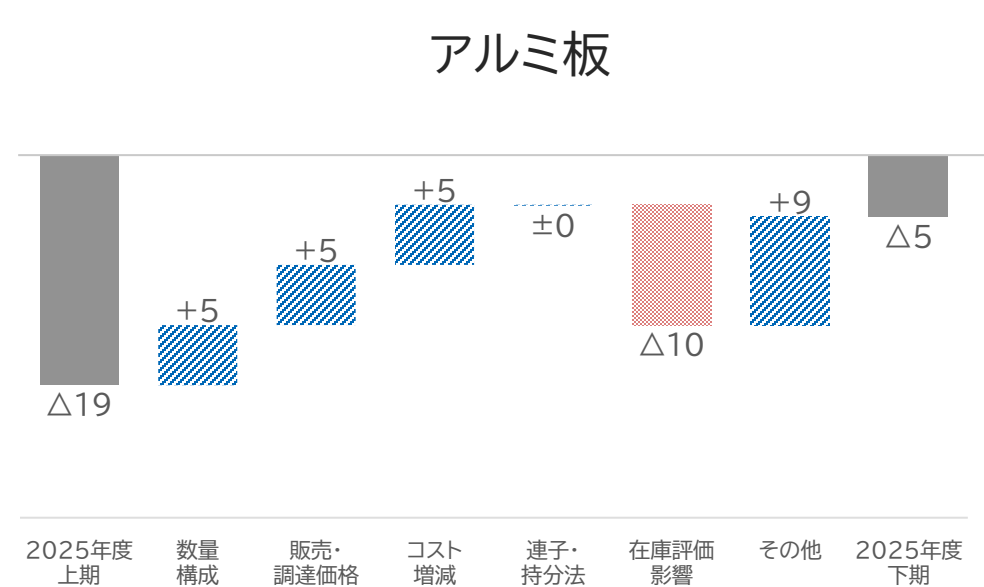
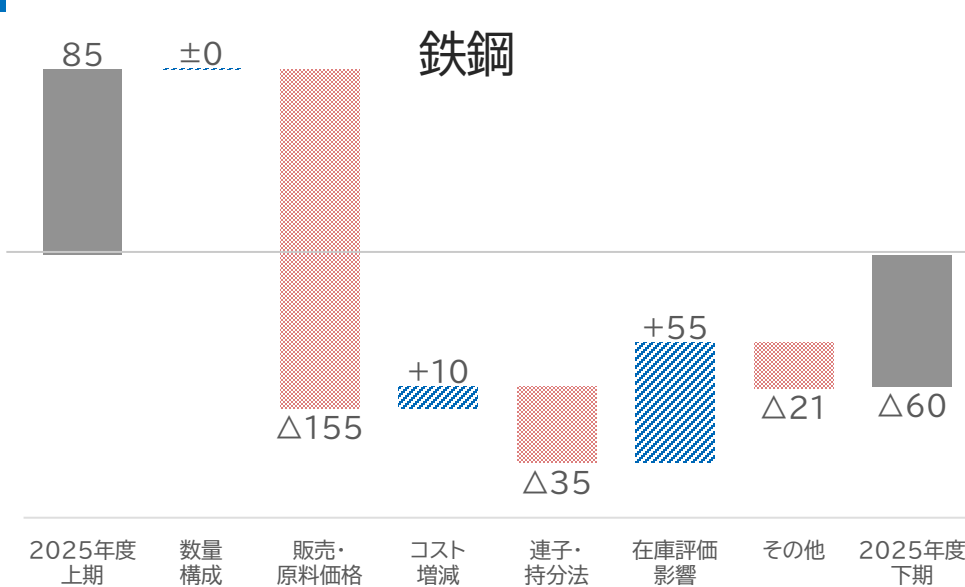
2025年度 業績見通し:経常損益 上期→下期差異内訳

△53億円



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

2025年度 業績見通し:経常損益 上期→下期差異内訳 主要セグメント



- 政策保有株式・土地の売却益を計上した一方、日本高周波鋼業(株)の特殊鋼事業譲渡にあたって見込まれる株式売却損の引当を実施したことにより、第3四半期累計期間の特別損益は181億円となった。
- 第4四半期においても、政策保有株式の売却益を見込む。

特別損益の内訳

(単位:億円)

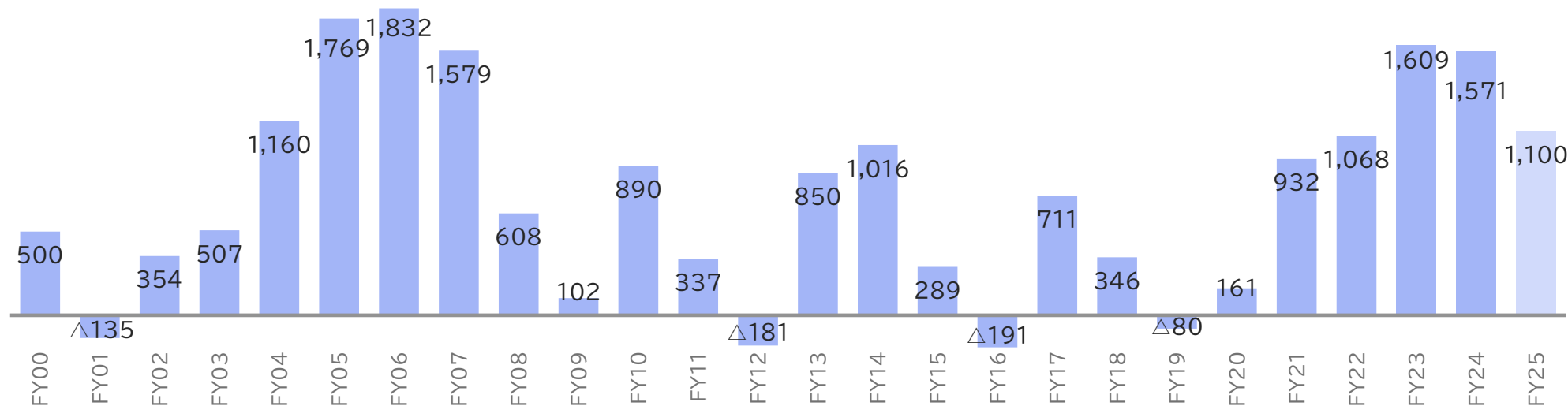
		前回	今回		主な内訳
		年度	3Q累計実績	年度	
投資有価証券売却益	他	175	157	176	・ 日本製鉄(株)株式等の政策保有株式の売却益
固定資産売却益		66	67	67	・ 海外に保有する土地の売却益
関係会社株式売却損		△41	△43	△43	・ 日本高周波鋼業(株)の特殊鋼事業譲渡に伴う株式売却損
特別損益		200	181	200	

		2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 見通し(前回)	2025年度 見通し(今回)
設備投資	計上	973億円	1,052億円	1,158億円	1,300億円	1,300億円
	支払	989億円	948億円	1,132億円	1,400億円	1,300億円
減価償却費		1,125億円	1,190億円	1,224億円	1,250億円	1,250億円
純資産比率		34.0%	38.6%	42.8%	44%程度	44%程度
有利子負債(リース含)		9,172億円	8,735億円	8,863億円	7,950億円	7,850億円
D/Eレシオ ※1		1.00倍	0.83倍	0.76倍	0.65倍程度	0.65倍程度
営業キャッシュフロー		1,196億円	2,052億円	1,482億円	2,000億円	2,000億円
投資キャッシュフロー		△ 972億円	△ 537億円	△ 1,138億円	△ 1,000億円	△ 900億円
フリーキャッシュフロー		224億円	1,515億円	343億円	1,000億円	1,100億円
現預金残高		2,033億円	2,787億円	2,198億円	1,950億円	1,950億円
1株当たり当期純損益		183.80円	277.38円	304.64円	253.75円	253.74円
ROE ※2		8.4%	11.1%	10.8%	8%程度	8%程度
ROIC ※3		4.9%	6.7%	6.9%	5%程度	5%程度

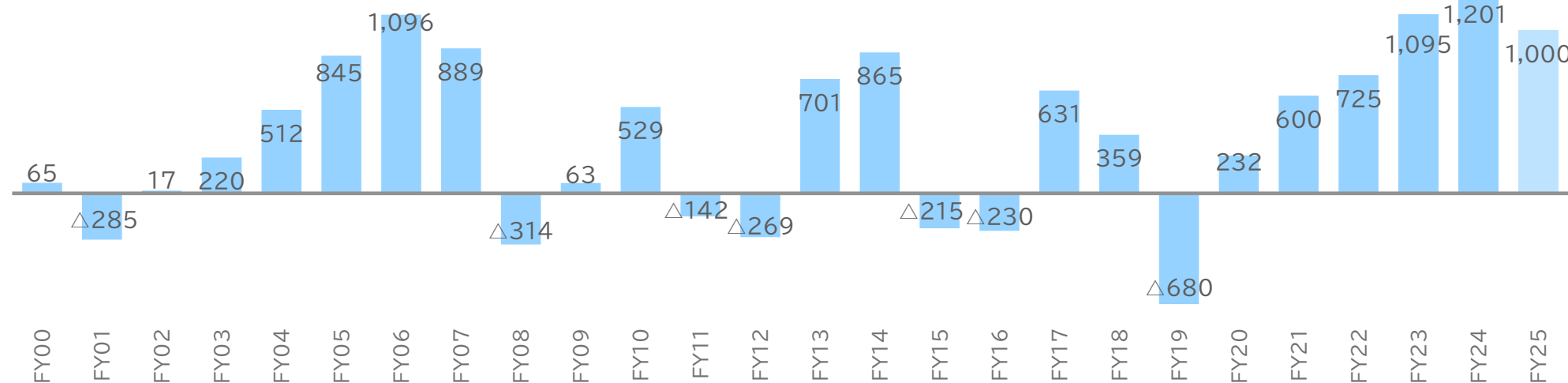
※1: D/Eレシオ=有利子負債(リース含む)/自己資本 ※2: 親会社株主に帰属する当期純損益/自己資本 ※3: 税引後事業利益/投下資本

(単位：億円)

【経常損益】



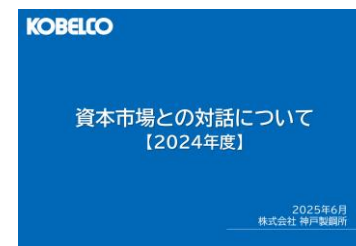
【親会社株主に帰属する当期純損益】



資本市場との対話

当社は持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて、資本市場との対話を積極的に行っており、その内容をホームページに開示しています。

2024年度版(2025年6月公表): [capital markets 24.pdf](#)



社会からの評価(主なもの)

◆FTSE4Good Index Series



FTSE4Good

◆FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index



FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

◆FTSE JPX Blossom Japan Index



FTSE JPX Blossom Japan Index

◆CDP



「気候変動」で「A」評価を獲得

◆MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX ※

2025 CONSTITUENT MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX

◆MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX(WIN)※

2025 CONSTITUENT MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

※THE INCLUSION OF KOBE STEEL, LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF KOBE STEEL, LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI.

MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

◆DX銘柄2025



DX注目企業2025
Digital Transformation

KOBELCO が 実現したい未来	<p>「KOBELCOの使命・存在意義」の実行を通じて実現したい社会・未来</p> <p>安全・安心で豊かな暮らしの中で、 今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。</p>
KOBELCO の 使命・存在意義	<p>KOBELCOグループの社会的存在意義であり、果たすべき使命</p> <p>個性と技術を活かし合い、 社会課題の解決に挑みつづける。</p>
KOBELCO の 3つの約束	<p>KOBELCOグループの社会に対する約束事であり、グループで共有する価値観</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します 2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます 3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します
KOBELCO の 6つの誓い	<p>「KOBELCOの3つの約束」を果たすため、品質憲章とともに全社員が実践する行動規範</p> <div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高い倫理観とプロ意識の徹底 2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献 3. 働きやすい職場環境の実現 4. 地域社会との共生 5. 環境への貢献 6. ステークホルダーの尊重 <div>品質憲章</div> </div>

- 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略等、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性等様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
- 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
 - ・ 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - ・ 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - ・ 為替相場の変動
 - ・ 原材料のアベイラビリティや市況
 - ・ 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&A等の事業展開
 - ・ 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化